

6月11日(日) 雨天中止

試合会場		責任者	第一試合				第二試合				第三試合					
1A	佐倉G		千葉緑		-		佐倉	千葉市		-		千葉市WINNERS				
1B	山桑G		四街道		-		匝瑳	佐倉城南		-		市川				
1C	千葉北G		我孫子		-		千葉北	八千代		-		袖ヶ浦				
1D	君津G		千葉西		-		木更津	君津		-		浦安				
1E	柏G		鎌ヶ谷		-		松戸	柏		-		九十九				
1F	八千代中央G		八千代中央		-		船橋	船橋中央		-		成田				

6月18日(日)

試合会場		責任者	第一試合				第二試合				第三試合					
1A	佐倉G	相葉理事	千葉緑	0	-	8	佐倉	千葉市	7	-	8	千葉市WINNERS				
1B	山桑G	鈴木事務局	四街道	1	-	8	匝瑳	佐倉城南	1	-	2	市川				
1C	千葉北G	山本理事	我孫子	1	-	6	千葉北	八千代	8	-	6	袖ヶ浦				
1D	君津G	津野競技員	千葉西	3	-	5	木更津	君津	1	-	8	浦安				
1E	柏G	立松競技員	八千代中央	12	-	3	船橋	柏	0	-	3	九十九				
1F	野田市営G	櫻井理事	鎌ヶ谷	6	-	1	松戸	船橋中央	5	-	6	成田				

6月25日(日)

試合会場		責任者	第一試合				第二試合				第三試合					
2A	佐倉G	相葉理事	佐倉	5	-	1	八千代中央	木更津	12	-	1	茂原				
2B	山桑G	鈴木事務局	匝瑳	4	-	0	鎌ヶ谷	市川京葉	1	-	5	成田				
2C	九十九G	中島理事	市原	2	-	4	九十九	市川	5	-	2	千葉東				
2D	千葉北G	山本理事	千葉北	0	-	2	千葉Winners	八千代	3	-	1	浦安				

※九十九Gは日向の森野球場です。

7月2日(日)

試合会場		責任者	第一試合				第二試合				第三試合					
3A	山桑G	鈴木事務局	匝瑳		-		市川	成田		-		八千代				
3B	九十九G	大羽澤理事	九十九		-		佐倉	千葉Winners		-		木更津				

2023年千葉日報社杯新人大会 大会要綱

大会進行方法	<p>千葉3ブロックに所属する29チームにより、トーナメント戦を行う。 今大会は、複数チームの出場を認るが、連盟規約の「複数チームに関する規定細則」を満たす事とする。尚、子チームが関東連盟に登録しているチームが複数勝ち上がった場合は2チームにシード権を与えるものとし、登録していないチームが複数勝ち上がったとしてもシード権は1チームのみとする。東関東支部秋季大会の5つのシード権をかけた大会で、トーナメント戦の準決勝に進出した4チームはその時点でシード権を獲得し、準々決勝にて敗退した4チームにてトーナメントを行い勝ち上がったチームが5つ目のシード権を獲得するものとする。</p>																																										
出場資格	<p>東千葉ブロック6チーム、西千葉ブロック11、南千葉ブロック11、計28チームに所属する登録選手で、ベンチ入りは1チーム9名～25名以内とする。(休部1チーム:印西。不参加チーム:香取・千葉南) 従来の選手登録書は原則として不要ですが、合同チームまたは他チームから選手応援を受けるチームは合同大会用の選手登録書が必要で、又、複数参加のチームは関東連盟の書式に基づき親チームの訂正と子チームの登録書を作成提出後ブロック長の確認を受けてください。監督は試合前、本部に所定のメンバー表(監督名は監督がサインをする)、指導者カード、選手カード、投球数確認シート(及び合同チームまたは他チーム選手応援を受けるチームのみ合同大会用の選手登録書)を提出し、大会役員、グラウンド運営責任者又は審判員による確認を受ける。 ※選手カードは毎試合必ず背番号順にセットして下さい。背番号は従来通り1～25番です。 尚、11名以下のチームは3年生をボールパーソン、バットボーイ、ブルペン捕手、ブルペン補助、シートノック時の補助に補助員として2名起用できる。但し、選手への指示・指導(応援含む)は行えない。補助員は出場選手と同じユニホームの着用は行えず、試合前に本部席に口頭で申し出ることとする。</p>																																										
日程 試合開始時刻	<p>予定日:6月11日(日)、18日(日)、25日(日)、7月2日(日)、9日(日)・・・5日間 予備日:6月17日(土)、24日(土)、7月1日(土)、8日(土)、15日(土)、16日(日)、17日(祝) 第1試合9:00、第2試合11:00 第3試合13:00を原則とするが、基本一会場2試合とし、第1試合9:00、第2試合11:00とする。 なお、夏季関東大会の試合日程が重複したチームの試合は、予備日を利用することがある。</p>																																										
審判員	<p>チーム帯同審判員とする。ただし、決勝戦、3位決定戦、5位決定戦は派遣審判員により行う。</p>																																										
試合	<p>関東連盟競技規則による(関東連盟HPに掲載)。ただし、コールドゲームに3回終了時13点差を加え、決勝戦にもコールドゲームを適用する。 メンバー表は25人記載用を使用し5部提出(コピー可)する。 各チームアナウンスの他に投球数カウント係1名お手伝い頂きお互いにカウントし、インニング終了後アナウンスにて放送し、ベンチにて確認をお願い致します。 組み合わせ表の若番チームが一塁側とし、敗者戦においても、本戦の若番チームが一塁側とする。 チームはグラウンド到着後速やかに指導者及び選手カード、合同チーム、複数出しのチームは登録書とメンバー表を提出願います。</p>																																										
荒天時の対応	<p>天候不良の場合でも第1試合のチームは、グラウンド責任者に連絡することなく開始時間1時間前迄に集合のこと。 グラウンド責任者は、天気予報、グラウンド状態を勘案し中島支部競技部長と協議の上、中止又は待機を決定し2試合目チームに連絡する。 種々の都合により試合時間・グラウンド・審判員の配置等を変更することがある。</p>																																										
表彰	<p>優勝・準優勝・第3位・第4位</p>																																										
大会競技委員 (敬称略)	<p>【連盟理事長】三木慶造 090-4826-4469 【支部副支部長】相葉延市 090-2633-3306 【支部競技部部長】中島洋 090-2665-0938 【支部競技部】櫻井道徳 090-4667-0983 / 山本久 090-2646-6455 / 平山忠 090-9009-8530 大羽澤一雄 080-8877-1267 【支部競技員】作田 090-3100-5887/立松弘通090-4200-6781/粕谷哲也090-4616-9012/遠藤正彦090-1116-9023 磯野嘉一090-1605-5546/津野広昭090-8879-5640/高木潔0902206-1811 【支部広報部長】後藤敦 090-5206-1189 【支部広報副部長・競技部】椿和彦 080-4142-0995 【支部審判員】谷口昌弘 090-3479-7167 【支部副審判員】柴田公一 090-4065-7297【審判部総務部長】飛田泰宏 090-1504-2961 【ブロック審判員】〔東〕中村新悟 090-1116-4465 / 〔西〕大川茂昭 090-4623-9573 / 〔南〕川俣滋彦 090-5191-1909</p>																																										
グラウンド 提供チーム	<table border="1" data-bbox="319 1406 1434 1608"> <thead> <tr> <th>チーム名</th> <th>責任者</th> <th>携帯番号</th> <th>チーム名</th> <th>責任者</th> <th>携帯番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>佐倉</td> <td>高橋事務局長</td> <td>090-4054-4223</td> <td>八千代中央</td> <td>宮川事務局長</td> <td>090-3105-0246</td> </tr> <tr> <td>柏</td> <td>立松事務局長</td> <td>090-4200-6781</td> <td>君津</td> <td>津野事務局長</td> <td>090-8879-5640</td> </tr> <tr> <td>千葉北</td> <td>山本事務局長</td> <td>090-2646-6455</td> <td>匝瑳</td> <td>鈴木事務局長</td> <td>090-8771-8514</td> </tr> <tr> <td>成田</td> <td>作田事務局</td> <td>090-3100-5887</td> <td>茂原</td> <td>大羽澤事務局長</td> <td>090-8877-1267</td> </tr> <tr> <td>木更津</td> <td>粕谷事務局長</td> <td>090-4616-9012</td> <td>千葉緑</td> <td>村石事務局長</td> <td>080-5198-7275</td> </tr> <tr> <td>ZAホールパーク</td> <td>椿事務局長</td> <td>080-4142-0995</td> <td>九十九(日向の森)</td> <td>中島事務局長</td> <td>090-2665-0938</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各チームのグラウンドを使用する場合、駐車台数はマイクロ含め10台にてお願い致します。(千葉緑は8台) グラウンド提供チームにやっていたこと この大会は夏季関東大会等と日程が重なるため、全会場に役員を配置することが出来ません。従ってグラウンド提供チームの事務局長には、グラウンド運営責任者となって頂き、審判責任者と協力して大会運営に当たって頂きます様お願い致します。尚、運営に当たっては、連盟規定集大会規定、同細則に従い、不明点等は中島支部競技副部長と協議の上、進行願います。 ・グラウンド運営責任者は、第1試合開始時刻の1時間30分前に集合し、審判のミーティングに参加し、当日の運営についての打ち合わせを行う。 ・7時40分から第1試合チームがアップできるように準備する。 ・グラウンド使用料(2,500円/1チーム1試合 公営球場は3,000円)、審判・役員弁当代の徴収、領収書の発行 ※審判・役員弁当代の徴収金額=(審判員数+役員数)×800円/試合を行うチーム数 (四捨五入し10円単位) ・メンバー表と選手カード、指導者カードを確認する(複数出しのチームは選手登録書も確認する) ・審判及び役員の弁当代(1個700円程度) ・グラウンド運営責任者は、試合経過を関東連盟のHPに速やかにアップすることで、役員への電話連絡を不要とする。 ・結果並びに次戦の予定は、椿理事から役員、各チームに配信し、後藤、椿役員によりブロックHPにUPする。 ・グラウンド責任者は、準々決勝以降千葉日報社への結果報告書を、その日のうちに東関東支部事務局 鈴木 あて FAX 送信(FAX0479-62-1092)する。 ・グラウンド責任者は資格審査(メンバー確認)をお願いします。2試合目以降、4回攻守決めの際のメンバー表の交換は事前に資格審査を行ってください。</p>	チーム名	責任者	携帯番号	チーム名	責任者	携帯番号	佐倉	高橋事務局長	090-4054-4223	八千代中央	宮川事務局長	090-3105-0246	柏	立松事務局長	090-4200-6781	君津	津野事務局長	090-8879-5640	千葉北	山本事務局長	090-2646-6455	匝瑳	鈴木事務局長	090-8771-8514	成田	作田事務局	090-3100-5887	茂原	大羽澤事務局長	090-8877-1267	木更津	粕谷事務局長	090-4616-9012	千葉緑	村石事務局長	080-5198-7275	ZAホールパーク	椿事務局長	080-4142-0995	九十九(日向の森)	中島事務局長	090-2665-0938
チーム名	責任者	携帯番号	チーム名	責任者	携帯番号																																						
佐倉	高橋事務局長	090-4054-4223	八千代中央	宮川事務局長	090-3105-0246																																						
柏	立松事務局長	090-4200-6781	君津	津野事務局長	090-8879-5640																																						
千葉北	山本事務局長	090-2646-6455	匝瑳	鈴木事務局長	090-8771-8514																																						
成田	作田事務局	090-3100-5887	茂原	大羽澤事務局長	090-8877-1267																																						
木更津	粕谷事務局長	090-4616-9012	千葉緑	村石事務局長	080-5198-7275																																						
ZAホールパーク	椿事務局長	080-4142-0995	九十九(日向の森)	中島事務局長	090-2665-0938																																						
試合球 ロジンバック	<p>各チームは確認用ロジンバック1個及び試合球(公認メーカーの確認のできる練習球可)3個を試合開始前攻守決定時に抛出し、試合球の試合中不足分はその都度抛出す。試合終了後、試合球は各チームへ返却する。</p>																																										

<様式 A>

※試合毎の投球数は、
様式 Bより転記する。

投球数確認シート

【本部提出用】(試合終了後チームで保管)

大会名 : 2023千葉日報社杯新人大会

チーム名 :

日本リトルシニア中学硬式野球協会

球場名																	
試合月日		/		/		/		/		/		/		/		/	
対戦相手		VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS
背番号	投手名	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数
1		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
2		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
3		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
4		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
5		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
6		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
7		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
8		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
9		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
球場責任理事(役員) 確認サイン																	
球場責任審判員 確認サイン																	
監督 確認サイン																	

注)打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を()外、実際に投じた投球数を()内に記入する。

【投球数制限】

- ①1日最大90球以内とする。
- ②連続する2日間で130球以内とする。
- ③3連投(連続する3日間)する場合は、1日目と2日目の投球数合計を90球以内とし、2日目と3日目の投球数合計も90球以内とする。なお、3日間の投球数合計を130球以内とする。4連投(連続する4日間)は認めない。
- ④上記①②③の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。
- ⑤大会中は1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球可能。
- ⑥打者に対して投じた投球がボークとなった場合は、投球数にカウントする。また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。

- ⑦申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球は投球数にカウントする。また、雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
- ⑧万が一制限数を超過して投げられた投球も有効とする。
- ⑨異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

【本シートの運用方法】

- ①試合終了後、本シート(原本)に投球数を球場責任審判員が記入・サイン後、球場責任理事(役員)及び、監督へ確認を求め、サインを受ける。
- ②監督は、サインされた本シート(原本)を次の試合まで保管する。
- ③監督は、次の試合開始前に本シート(原本)とコピー2部を大会本部へ提出する。
注)連戦の場合は試合前の攻守決定時に投球数確認シートを相手チームに開示する。
- ④鉛筆での記入と複写したシートは、原本としては無効とする。

<様式 B> (1試合用)

投球数確認シート

【責任審判員保管(試合終了後)】

日本リトルシニア中学硬式野球協会

大会名 : 2023千葉日報社杯新人大会

チーム名 :

試合日 : 年 月 日 (第 試合)

球場名 :

<記入例>		※上段：投球数を正の字で記入 ※下段左：その回の投球数 ※下段右：累計の投球数											
背番号	投手名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB-1	TB-2	TB-3	合計
1	日本 一郎	90 (92) 球	正正正 15 / 15	正正正 T 17 / 32	正正正正 20 / 52	正正正正 20 / 72	正正正正 20/90(92)	/	/	/	/	/	90(92)球

注)五回、打席の途中で制限数の90球に達し、当該打者の打席終了まで投じた結果、累計の投球数が92球となった例。

【記入欄】													
背番号	投手名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB-1	TB-2	TB-3	合計
1		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
2		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
3		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
4		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
5		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球

【投球数制限】 注)打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を()外、実際に投じた投球数を()内に記入する。

- ①1日最大90球以内とする。
- ②連続する2日間で130球以内とする。
- ③3連投(連続する3日間)する場合は、1日目と2日目の投球数合計を90球以内とし、2日目と3日目の投球数合計も90球以内とする。なお、3日間の投球数合計を130球以内とする。4連投(連続する4日間)は認めない。
- ④上記①②③の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。
- ⑤大会中は1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球可能。
- ⑥打者に対して投じた投球がボークとなった場合は、投球数にカウントする。

- また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。
- ⑦申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球はカウントする。また、雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
- ⑧万が一制限数を超過して投じられた投球も有効とする。
- ⑨異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いいたします。

【本シートの運用方法】

- ①様式 B´ やスコアシート等との確認により、正確な投球数の記入に努める。
- ②試合終了後、責任審判員が保管する。